

指定管理施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート概要(令和6年度事業分)

施 設 名 山梨県立育精福祉センター成人寮
 所 管 課 福祉保健部 障害福祉課
 指定管理者 社会福祉法人山梨県手をつなぐ親の会

1 指定管理者の推移

導入年度	平成25年度			
指定管理者名	出資法人	指定期間		委託料総額(単位:円)
社会福祉法人 山梨県手をつなぐ親の会		H25.4.1	～ H30.3.31	5年
社会福祉法人 山梨県手をつなぐ親の会		H30.4.1	～ R4.3.31	4年
社会福祉法人 山梨県手をつなぐ親の会		R4.4.1	～ R8.3.31	4年
				28,109,000

2 施設の概要

所 在 地	南アルプス市有野3303-2
設 置 年 月 日	昭和47年4月1日
設 置 根 拠 (法 律 、 条 例 等)	山梨県立障害者支援施設設置及び管理条例
設 置 目 的	知的障害者に必要な指導及び訓練を行い、自立した日常生活や社会参加を図るため。
主 な 業 務 の 内 容	(1)施設等の維持保全に関する業務 ・施設及び設備器具の維持保全に関する業務を行う。 (2)利用者に対する障害福祉サービス業務 ・生活介護、短期入所及び施設入所支援に係る業務を行う。
主 な 施 設 内 容 (定 員 等)	○敷地面積:79,970m ² (児童寮を含む) ○建築延面積:3,236.11m ² ○建物の構造:鉄筋コンクリート造平屋建、鉄骨造 ○施設の内容 ・成人一寮棟(鉄筋コンクリート造平屋建) 1,312.60m ² ・成人二寮棟(鉄筋コンクリート造平屋建) 1,429.65m ² ・療育棟(鉄筋コンクリート造平屋建) 342.60m ² ・管理棟及び車庫の一部 151.26m ² ○各障害福祉サービス定員 ・生活介護:105人 ・短期入所:9人 ・施設入所支援:90人
備 考 (改築工事等の状況、一括管理施設 等)	

指定管理施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート概要(令和6年度事業分)

3 指定管理業務に係る収支状況

(単位:円)

年度 項目	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考
収入合計	459,724,091	460,107,080	459,107,989	491,842,762	545,948,102	
支出合計	426,808,420	417,045,880	446,313,706	457,394,607	485,026,909	
収支差額	32,915,671	43,061,200	12,794,283	34,448,155	60,921,193	

4 利用状況、利用者満足度の状況

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考
利 用 実 績	205人	207人	197人	200人	200人	
利 满 足 度	◎	◎	◎	◎	◎	「満足」又は「どちらかといえど満足」の合計 ◎:80%以上 ○:60%以上80%未満 △:60%未満

5 運営目標の達成状況(令和6年度)

令和6年度は4年間の指定管理期間の3年目であり、引き続き、成人寮と児童寮の一体的且つ効率的運営に努めた。

利用者支援について、当施設の利用者には強度行動障害のある利用者が多く在籍するため、昨年度に引き続き強度行動障害者支援を強化するための取り組みとして、外部の専門家によるコンサルテーションを受け、施設職員の支援力向上を図った。また、誤嚥対策として「摂食・嚥下チェック」を行い、状況の表示や一人ひとりの状況に沿った支援を行った。更に、利用者の身体機能の維持や精神的安定を図るために、乗馬療法、音楽療法、リハビリ等、行動障害を軽減する活動などを取り入れ、日常支援を行った。

衛生管理については、新型コロナウイルスのクラスターが1件発生したが、迅速に適切な対応を行った結果、重症者を出さずに終息することができた。

運営面について、年度末利用者数は、生活介護99名、施設入所支援88名、短期入所利用者は13名であり、定員に対する利用率は、生活介護が94.3%、施設入所支援が97.8%の利用率だった。短期入所は13名で延べ962日間利用があった。

施設の維持・保全については、近隣住民に配慮した環境整備や、利用者の生活環境の向上に努めた。また、通所を含め成人児童全4寮の利用者トイレの改修工事を行うとともに、成人1寮に機械浴を導入し、利用者へのサービス向上に努めた。

6 施設所管課による総合的な評価及び指導事項(令和6年度)

令和6年度は、令和4年度から開始した成人寮と児童寮の一体的な管理・運営の3年目となったが、利用者満足度調査の結果、施設全般の満足度の「満足・どちらかといえど満足」の割合が93.8%と、前年度同様、高い水準を維持しており、利用者の立場に立った支援を行っている。

利用者は、最重度の知的障害者や強度行動障害のある者が多く、また、高齢化により、介護要素も加わって来ていることから、支援は年々大変になって来ているが、令和5年度に引き続き、外部の専門家によるコンサルテーションを受けるなど、利用者の状況に合わせ、強度行動障害者支援の向上に積極的に取り組んだ。

また、衛生管理については、日常の感染対策は継続しているが、新型コロナウイルスのクラスターが1件発生した。しかし、迅速に対応することで一人も重篤者を出さずに終息することができた。

施設や設備の維持・保全については、積極的に大規模なトイレの改修工事を行った。また、成人1寮に機械浴を導入するなど、利用者の利便性向上に努めた。

さらに、施設長を中心に、職員が働きやすい職場づくりや利用者への支援向上のため、職員が一丸となって取り組み、組織の体制の強化を図った。

今後も、より良い施設運営への取り組みを継続して行っていただきたい。

指定管理施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート概要(令和6年度事業分)

7 施設所管課の指導事項に対する指定管理者の対応状況(令和6年度)

施設運営については、成人寮と児童寮との一体的・効率的運営を行うとともに、利用者に満足していただけるサービス提供を心掛けており、新型コロナの5類移行後も感染症対策を継続しながら、利用者の外出や旅行などの行事を実施することができた。

また、児童寮と協働して、令和5年度から実施している強度行動障害者支援を強化するための取り組みを行うなど、重度障害者の特性に配慮した支援の提供に努めた。

また、利用者一人ひとりの状況把握を丁寧に行い、高齢化に伴う誤嚥や転倒などの事故防止に注意しながらサービス向上に取り組んだ。

引き続き、県立施設としての役割を理解し重度障害者が安心して過ごせるよう、職員の資質の向上とサービス向上に努める。

指定管理施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート詳細(令和6年度事業分)

施 設 名 山梨県立育精福祉センター成人寮

所 管 課 福祉保健部 障害福祉課

指定管理者 社会福祉法人山梨県手をつなぐ親の会

1 利用状況

(単位:人、%)

		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
利 用 者 数	生活介護	104	105	102	103	99
	短期入所	12	11	5	7	13
	施設入所支援	89	91	90	90	88
	利用者数合計	205	207	197	200	200
	目標値	204	204	204	204	204
	実績／目標割合	100.5%	101.5%	96.6%	98.0%	98.0%
	目標値の設定方法	定員を目標値とする。				
利 用 率	稼働率等(利用率)	100.5%	101.5%	96.6%	98.0%	98.0%
	稼働率等(利用率) の算定方法	利用者数÷施設の利用定員				

2 類似施設・近隣施設

名称・施設内 容 等	・あゆみの家:自立訓練(日中20人、宿泊型20人)、短期入所(2人) ・梨の実寮:生活介護(44人)、就労移行支援(6人)、就労継続支援B型(10人)、施設入所支援(40人)、短期入所(6人) ・あさひワークホーム:生活介護(46人)、就労継続支援B型(34人)、施設入所支援(40人)、短期入所(5人) ・あけぼの医療福祉センター成人寮:生活介護(45人)、自立訓練(機能訓練)(15人)、施設入所支援(40人)、短期入所(15人)
------------	--

3 捕修工事等の状況(令和6年度)

(単位:円)

県	育精福祉センター給湯用ボイラーガラス改修他工事	19,910,000
県	育精福祉センター管理療育棟屋上防水改修工事	21,256,400
県	育精福祉センター成人寮成人最重度棟屋上防水改修工事	15,394,500
県	育精福祉センター成人寮成人重度棟屋上防水改修工事	16,393,300
管	成人1・2寮利用者トイレ補修工事	1,078,000
管	駐車場クラック補修工事	2,145,000
管	成人1寮鍵交換工事	1,597,420
管	消防設備交換工事、ランドリー設備修理費用、ボイラーエネルギー設備修理費用など	1,061,472

修繕等の負担区分(基本協定書): 1件60万円未満の修繕等は指定管理者が実施

*ただし、上記にかかわらず、県の承認により、指定管理者が修繕等を実施することができる。

4 自動販売機設置状況等(令和6年度)

(単位:円)

台数	選定方法	収入割合	収入額	仕入(支出)額

指定管理施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート詳細(令和6年度事業分)

5 指定管理業務に係る収支状況

(単位:円)

		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
収 入	A 収入額計	459,724,091	460,107,080	459,107,989	491,842,762	545,948,102
	施設利用料	450,373,225	458,682,450	450,290,275	469,554,013	531,080,449
	指定管理委託料			4,433,000	2,528,602	4,202,461
	施設整備等国庫補助金	9,066,000		2,654,000		
	その他の収入	284,866	1,424,630	1,730,714	19,760,147	10,665,192
支 出	B 支出額計	426,808,420	417,045,880	446,313,706	457,394,607	485,026,909
	人件費	296,868,460	289,867,294	309,203,591	322,667,131	341,258,612
	修繕費	1,004,034	2,406,628	1,887,952	4,211,546	5,881,892
	光熱水費	16,468,867	19,999,947	23,630,148	22,166,004	26,011,083
	給食費	62,469,618	62,577,783	62,083,994	63,877,578	71,930,514
	消耗器具備品費	1,739,536	1,531,122	3,599,383	2,242,336	2,542,853
	日用品費	3,362,046	3,588,970	3,599,818	4,168,786	1,577,430
	手数料	169,015	219,258	83,927	95,019	113,709
	事務消耗品費	2,169,033	2,957,479	4,360,769	2,007,810	3,729,655
	教養娯楽費	237,709	200,910	27,130	562,610	861,402
	福利厚生費	1,610,656	4,115,664	2,277,011	1,899,804	1,643,797
	車輌費	605,129	672,369	805,660	895,436	1,022,388
	通信運搬費	870,042	856,446	890,790	812,552	712,614
	介護用品	755,350	735,595	698,187	836,608	884,758
	保健衛生費	1,345,551	1,166,578	1,903,511	1,456,440	1,708,802
	保険料	748,530	666,301	815,437	828,510	762,258
	賃借料	3,241,884	3,241,881	2,983,230	2,960,408	3,118,218
	研修研究費	142,973	111,511	109,696	279,710	259,199
	保守料	1,457,010	1,946,269	2,303,743	2,468,210	3,102,788
	その他	19,077,642	7,589,915	11,282,771	9,315,842	4,092,545
	外部委託費	12,465,335	12,593,960	13,766,958	13,642,267	13,812,392
	会計委託料	110,000	110,000	132,000	132,000	132,000
	廃棄物委託料	765,442	791,090	832,709	846,753	856,880
	機械設備等	11,589,893	11,692,870	12,802,249	12,663,514	12,823,512
	外部委託比率	2.9%	3.0%	3.1%	3.0%	2.8%
	県への納付金					
収支差額(A-B)		32,915,671	43,061,200	12,794,283	34,448,155	60,921,193
一人当たりの収入額*		2,242,556.5	2,222,739.5	2,330,497.4	2,459,213.8	2,729,740.5

* 収入額計 ÷ 利用者数(単位:円)

一人当たり指定管理者委託料	—	—	22,502.5	12,643.0	21,012.3
---------------	---	---	----------	----------	----------

* 指定管理者委託料 ÷ 利用者数(単位:円)

(参考)自主事業に係る収支状況

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
C 収入額計	493,650	232,550	65,978	86,504	44,428
D 支出額計	2,272,434	1,787,263	1,761,663	1,988,694	2,133,202
収支差額(C-D)	△ 1,778,784	△ 1,554,713	△ 1,695,685	△ 1,902,190	△ 2,088,774

6 自主事業の実施状況

	事業名	対象者	実施場所
1	日中一時支援事業	障害児・者	成人寮

指定管理施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート詳細(令和6年度事業分)

7 利用者満足度

実施方法等	実施期間:令和7年1月15日～1月24日 調査方法:利用者へのアンケート 回答数:97人			
	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満
相談・要望対応	50.5%	41.3%	7.2%	1.0%
プライバシー	62.9%	29.9%	7.2%	
食事	62.9%	29.9%	5.2%	2.0%
入浴・身だしなみ	66.0%	30.9%	3.1%	
健康管理	81.5%	14.4%	3.1%	1.0%
買い物・外出	36.1%	40.2%	19.6%	4.1%
居住	51.5%	42.3%	5.2%	1.0%
施設利用の感想	49.5%	44.3%	6.2%	
施設全般の満足度	54.6%	39.2%	6.2%	
利用者の主な意見	(1)さぎょうは、たのしい。 (2)車にのりたい。 (3)もっと買い物にいきたい。 (4)寮内がさむいときがある。 (5)もっと、外出が出来るうれしいです。 (6)ボイラーを早く直してほしい。温かいお風呂に入りたい。 (7)部屋を広くしてほしい。 (8)トイレをきれいにしてほしい。 (9)花を植えて欲しい。 (10)通所:送迎してもらえて助かります。引き続き、継続を希望します。			
利用者の意見への対応	(1)農作業や室内での作業など、利用者の希望にそった作業を検討して参ります。 (2)(3)(5)買い物や食事等の外出や旅行等については感染対策を行なながら充実したいと考えて参ります。 (4)寮内に温度計と湿度計を設置し適切な温度湿度管理に努めて参ります。 (6)県の工事によりボイラー1基の補修を行いました。残りのボイラーについても耐用年数を超える老朽化が進んでいますから、補修を依頼して参ります。 (7)居室拡幅は困難であり、寮内で楽しく生活できるよう、工夫して取り組んで参ります。 (8)トイレも老朽化が進んでいますので、引き続き、維持改修に取り組んで参ります。 (9)業務員を中心に、寮内の花壇等に季節の花を植えて生活環境を整えて参ります。			

指定管理施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート詳細(令和6年度事業分)

8 評価結果

項目	指定管理者の自己評価	施設所管課の評価
維持管理業務	老朽化したボイラーの補修工事を県で実施していただいた。法人では各寮の利用者トイレの補修工事を実施するなど利用者の安全、及び生活環境の向上を図った。 その他、機械・設備などの法定点検をはじめ、維持管理業務全般については業務仕様書などに基づき、きめ細かな業務の遂行に努めた。	業務仕様書、業務計画書どおり適正に実施されている。 引き続き利用者の安全確保、利便性の向上に留意し、維持管理業務に努めること。また、建物や主な設備は設置から四半世紀が経過し、老朽化しているため、保守点検及び日常業務の中で異常が確認された場合には、早急に対応すること。
運営業務	利用者の高齢化・障害の重度化に伴い、個々の状況やニーズに合わせ、必要な支援や活動(強度行動障害支援事業、作業活動、余暇活動、音楽療法、乗馬療法、歩行、リハビリなど)を実施した。 職員の欠員については、引き続き法人として人材確保に取り組んで参ります。	事業計画書に基づき適正に運営されている。 引き続き、利用者個々の障害特性に配慮し、意思決定支援に基づくサービスの提供に努めること。 また、強度行動障害者支援については、施設独自で外部の専門家によるコンサルテーションを受けるなど、特に積極的に取り組んでいる。 今後も職員の専門性の向上に努めること。 職員確保については、様々な機会を活用して創意工夫し、支援体制の維持・向上に当たること。
利用状況	利用者数は、生活介護99名、施設入所支援88名、短期入所13名であり、稼働率は、98.0%(前年度98.0%)となった。 退所者があったことから生活介護と施設入所支援は定員を下回ったが、短期入所は利用者のニーズが高く、延べ962日(令和5年は延べ429日)の利用者数があり、施設全体としては概ね順調に運営することができた。	生活介護と施設入所支援は、定員を下回ったが、短期入所は大幅に増加し、施設全体としては、稼働率は高い。 引き続き感染症対策に留意し、質の高いサービスの提供に努め、今後も利用者数を拡大・維持されたい。
収支状況	新型コロナウイルス感染症の影響が少なくなったことによる短期入所の利用者増、令和6年度報酬改定により収入は増加した。一方、物価高騰や人件費増により支出も増加したもののプラス収支を維持している。	物価及び人件費高騰の影響を受け、支出も増加しているが、令和6年度の報酬改定により、収支差額が増収になっている。 引き続き児童寮と連携し、効率的な運営により、支出の削減を図りつつ、より一層積極的な利用者支援及び職員待遇の向上に資すること。 また、施設の修繕等は、県と協議しながら計画的に実施していくこと。
自主事業	地域の障害者支援と保護者のレスパイト支援という面から、市町村の委託事業として日中一時支援事業を実施し、契約者10名の内、4名の利用があった。	育精福祉センターの機能を地域の障害児・者に有効に利用していただくよう、感染症対策に留意しながら可能な限り日中一時支援の受け入れに努めること。
利用者満足度	個人の記入又は職員の対面での聞き取りにより調査を実施した。施設全般では、「満足・どちらかと言えば満足」との回答が93.8%であった。 意思表示ができない利用者も、思いや意向、要望をできるだけ汲み取り、利用者に寄り添ったサービス提供に務めた。	満足度調査の結果から、施設全体の満足度は昨年度に引き続き高い。 一方で、「買い物・外出」については、「不満」、「どちらかと言えば不満」の割合が一昨年度から横ばいの状況であるが、利用者に寄り添ったサービス提供に努め、改善を図っていくこと。

指定管理施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート詳細(令和6年度事業分)

9 施設所管課による定期評価結果

施策推進業務の内容	評価	改善内容
施設利用者の満足度の向上	<p>利用者満足度調査結果の「施設全体の満足度」における「満足・どちらかといえば満足」の割合を評価指標として、目標値を80%と設定。</p> <p>ケース会議や職員会議等における調査結果の共有や利用者サービス向上に取り組んでおり、「満足・どちらかといえば満足」の割合が93.8%となって、目標を達成した。</p>	<p>施設全体の満足度は、目標を達成したが、設問的回答中、「買い物・外出」の満足度など、一昨年度から、満足度が低い項目もある。新型コロナやインフルエンザ等感染症拡大の影響もあったと推測されるが、今後も満足度調査結果の分析や、職員による検討会を行う等、引き続き利用者の要望に可能な限り対応されたい。</p>
感染症対策	<p>本施設は入所施設であることから、施設内に感染が拡大すると、利用者の健康や施設の運営等に甚大な影響が生じる恐れがあるため、職員や利用者には感染予防対策に留意することを県から要請した。</p> <p>また、施設内で感染者が発生しないことを最善と想定し、目標とした。</p> <p>クラスターが1件発生したが、迅速に対応した結果、重症化することなく終息した。</p> <p>また、定期目標値設定時期には感染者はいなかった。</p>	<p>多数の者が施設を使用することから、引き続き感染症対策を実施されたい。</p> <p>また、感染者が発生した場合の対応内容について、確認しておくこと。</p>

指定管理施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート詳細(令和6年度事業分)

10 管理体制(組織図)

令和6年4月1日現在

